

女性のチャレンジ応援プラン

昨年5月、有識者らでつくる民間研究機関から「消滅可能性都市」の発表がありました。平成52年までに20〜39歳の女性の数が半減し、その結果、行政機能の維持が難しくなる自治体のことを指してこう表現されました。

すでに日本が人口減少時代に突入している中、若者の都市部集中傾向も重なり、地方の自治体では人口減少問題がより深刻化しています。冒頭でもお話しのように、まさに今「消滅」の危険を抱え込んでいる自治体が全国の至る所にあります。

その対策として、国と地方が力を合わせて「まち・ひと・しごと創生」と題して、人口減少対策と地方経済の活性化に取り掛かっているところでもありません。そういった取り組みの中で、女性にターゲットを絞り、女性がもっと活躍することで日本を元気にしよう、と、「女性のチャレンジ応援プラン」が発表され

ました。

ご家庭で、家事や子育て、家族の介護などをしている女性の皆さんで、もう少し地域や社会で活躍してみたいと思っている方が、普段の生活から一歩踏み出してチャレンジしてみたいという希望を実現できるような支援策になっています。

市としても、国と協力して皆さんの活躍を支援していきたいような取り組みを進めていきたいと思えます。

女性のチャレンジ応援プラン

- ① 家事や子育てと両立可能な就職・再就職支援
- ② 専門資格等を生かした再就職支援
- ③ ひとり親家庭の方への就職支援
- ④ 経験を活かした地域貢献等の支援
- ⑤ 女性のアイデアで地域を元気づける起業支援

消費生活のお話 (他人事じゃない!? 怖〜いトラブル)

秘書広報課広報広聴係 (内線186)

「〇ト6の当選番号を教えてもらえな」という電話。情報を支払ったが番号は教えてもらえなかった。

(事例)

「〇ト6の当選番号は事前に決まっている。あなたにその番号を教えてもらえる権利が抽選で当たった」と突然電話があった。不審に思いつつも、その話を信じて情報を支払った。しかし、「間に合わなかった」などと何かと理由をつけられ、結局番号は教えてもらえなかった。「次回の当選番号を教えるから」と、今度は追加料金を請求されている。

宝くじの当選番号を事前に教えてもらえることは絶対にありません。中には、複数の人間が共謀してもっともらしいストーリーを作り、複数回に渡って電話をかけてくるなど、より巧妙で悪質な手口もあります。〇ト6の他にもパチンコ・競馬などの必勝情報の提供を持ち掛ける場合もあります。簡単にもちかる話はありませんので、絶対に相手をしてはいけません。

少しでも不安に思ったら、消費生活相談窓口にご相談ください。

消費生活相談窓口

場所 市役所1階 広報広聴係  
 常設 月～金曜日・午前9時～午後4時  
 巡回相談 毎週金曜日・午前10時～午後4時 (予約優先)  
 ※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

